

# 福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (パリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩幸  
目標「例会を楽しもう」

会員/71名 出席/51名 出席率/71.83%

メークアップ/20名 修正/71名 修正後率/100%

## 会長挨拶 吉田 和義 会長



本日のお客様は RI 第2530地区会員増強・拡大委員会委員の二本松あだたらロータリークラブ所属の佐藤社一郎様です。佐藤様にはご挨拶を頂きます、よろしく願いたします。

さてロータリーでは今月 母子の健康月間となっております。2017-18 年度にロータリアンが財団に寄付した金額は 4 億 1,470 万ドル。(約 450 億円)とされております。プログラム補助金と運営費として 3 億 269 万ドルが支出されており、ポリオプラスに 1 億 5,600 万ドル(170 億円)で支出額の約 52%。グローバル補助金に 8,670 万ドル。ほとんどがポリオ主力という形になっております。グローバル補助金の内訳を見ますと、疾病予防と治療に 3,570 万ドル、水と衛生に 1,880 万ドル、経済と地域社会の発展に 1,050 万ドル、基本的教育と識字率向上に 1,100 万ドル、母子の健康には 720 万ドル、これは支出額の 2.4%で非常に少ない金額になっております。最後に平和と紛争予防・紛争解決が 350 万ドル。

パリー・ラシンRI会長がマイロータリーの4月のメッセージで、世界のどこかで妊婦や出産に関連して女性が命を落としています。母子の健康にもっと我々ロータリアンは関わっていくべきです。と述べております。2分に1人ということでは1日720名、1年間で262,800名の妊婦や出産に関連する女性が亡くなっているということです。最後にロータリー財団への年次寄付・恒久基金へ1,000ドルの寄付を是非お願いしたいと思います。

次に青少年交換留学生に関する資料を先日皆様にお送りしました。幹事の方から説明がありますのでよろしく願いたします。平成の例会もあと2回。10日は親族会、17日は横山俊邦氏のスピーチを残すのみとなっておりますので、皆様奮ってご参加くださるようお願い申し上げます。

## 地区 会員増強・拡大委員会佐藤 壮一郎 委員 挨拶



今日は、地区の会員増強委員会が各クラブに一人ずつお邪魔させて頂き、会員拡大そして情報の交流を図って欲しいと箭内委員長の方針の下お邪魔させて頂きました。

私の方から会員増強について言わなくてはならない事が1点。ロータリーの年度末に入ってくると退会者も増えてくるという妙な現象が毎年のようにロータリーでは起こっている、是非とも会員数を維持するばかりではなく退会を防止する、こちらの方に力を入れて頂きたく願いたします。

昨日、令和という元号の発表がありました。まさに聖徳太子が言ったように和をもって尊し。ロータリーが出来る前から日本は和を持ってそれぞれの意見の中を調和しながら仲良くやっていたというDNAが我々の中には備わっている、「もうやめようかな」なんていう気持ちにならず、これからもロータリーを続けていこうという気持ちを持って頂きたいと思ふ。

## 誕生祝 親睦活動委員会 伊藤 紘一 委員長

おめでとうございます!



- 3月19日 藤橋 進一郎 会員 趣味:無趣味
- 3月22日 高橋 勇雄 会員 趣味:盆栽
- 3月19日 亀井 淳 会員 趣味:ゴルフ
- 4月2日 佐久間 功 会員 趣味:ドライブ
- 4月12日 穴戸 隆司 会員 趣味:ゴルフ
- 4月26日 赤間 浩一 会員 趣味:家庭菜園
- 4月21日 齋藤 弘之 会員 趣味:卓球



## ロータリーの友読みどころ クラブ広報・雑誌委員会 亀井 淳 委員



今回の特集は命の重み感じてますか?になっております。

横7P:若者15歳から34歳を対象としますと、主要先進国の死因第一位が事故であるのに対して日本では自殺がトップであるという衝撃的な記事が出ております。日本の未来を担うべき人たちが自ら命を絶している現状があります。そのような現状を捉え自殺防止を訴える活動を行うクラブを紹介されております。

縦13P:『友情の広場』で生まれてきてくれてありがとう。その中では産んでくれてありがとうと大人に呼びかける子供達を増やし、生まれてきてくれてありがとうと伝える親を増やす。そして生まれてきてよかった、産んで良かったという社会にしたいものです。という記事です。

その他、横12P:『地域社会の影に光を照らす』ロータリーにおける社会奉仕とは行政の光が当たらないところに光を当てることだと思います。横14P:『驚いできた命を次の世代へ』今こうして生きているのはとても有難いことです。等、いい記事がたくさん掲載されておりますのでじっくりご覧いただきたいと思ふ。

## 会員スピーチ 藤橋 進一郎 会員



この度、会員スピーチの依頼を受け思いのまま話させて戴きます。

平成13年に入会させて頂き今年で18年を迎えましたが只々クラブの一員として在籍しておりますに常々心との葛藤を感じておりました。

その理由の一つとして今まで関わって来ましたが各団体組織に多くの時間を費やしたことで、一昨年から体調を崩してしまつた事にクラブの各事業に協力も出来ない状況で居る事に心痛めておりました。そこで、本日与えられた時間内に何をお伝えしようかと考えた末、今まで係わって来ましたが中小企業団体中央会、福島県鉄工機械協同組合連合会、電子機械工業会など多くの組織の中で中小規模企業の今後の多くの問題点を、厚生労働省や経済産業省の委員会懇談会の中から抜粋して話してみたいと思ふましたが、時間の関係で福島県鉄工機械協同組合連合会の代表として県の商労文教委員会に予算要望聴取会の席で話した内容を要約してご紹介したいと思います。

最後に、自分を律して駆け足で自らの病気の遍歴を紹介致しますので、今後の健康管理に役立てて下さい。

小学4年生で盲腸・19歳で痔瘻切開手術・23歳で蓄膿手術・43歳に上顎洞手術3回・54歳に胆石摘出手術・60歳に加齢黄斑レーザーと眼球注射療法・62歳の時、無呼吸症候群でCPAP療法・69歳には腹部大動脈瘤でステントグラフト挿入手術・最後に70歳で前立腺癌の放射線治療37回を終え現在に至っております。

気が付いてみれば時すでに遅く残された人生を出来る限り頑張つて生き抜こうと思ふ。

## 会員スピーチ 林 克重 会員



タカラ印刷は、私が生まれる約半年前、1954年 昭和29年5月10日父が創業しました。福島市内矢剣町で産声をあげ創業から64年、私で3代目です。

私は工業高専グラフィック工学科を卒業し直ぐに、20歳で戻つて来てタカラ印刷で仕事を始めました。戻つた時は、社員5、6人で設備も古く、穴があちこち空いているような社屋で活版印刷、カーボン伝票印刷、チラシなどを行なつておりました。

父は、病気でしたので母や、姉が会社を守り繋いでくれました。私は、東京で学び福島に戻つたら「こうありたい」という理想論をいろいろ抱えて戻ってくるわけです。現実を見て、「この会社がダメなのは母のせいだ。」「みんなのせいだ。」「自分のせいだ。」と、体調のすぐれない父とはほとんど会話もなく一人で悶ていました。無我夢中で仕事をするしかなかった時代でした。何もできない人間にけど、一生懸命やっていると、少しずつ仕事が広がって、売り上げは、上がりになっていきました。しかし、社員は定着せずとにかく人の出入りが激しかった。どう経営して良いかわからないまままでしたから...

あの頃いた社員には申し訳ないと思ふ。26歳(1981年 昭和56年)矢剣から黒岩へ移転、30歳で社長になり「様々な出会い、学び、異業種交流がいかにか大切か」と思い、35歳(平成2年 1990年)から商工会議所青年部に入会し、街の活性、福島駅の連続立体化、わらじ祭りの見直し、日本商工会議所への出向など同世代の仲間たちと切磋琢磨させていただきました。東北各地、全国に仲間もできました。

諸先輩のおかげで黒岩に移転したことで銀行のユーザー会、商店会活動に参加したこと、人の輪を広げることや経営者として学びが出来ました。そして、より学びたい、体験したい友情の輪を広げたい思いで、平成13年(2001年)46歳でロータリーに入会させて頂くことになりました。ロータリーも経営者の集まりです、異業種で年齢差がありそして何より職業を踏き社会へ奉仕しようとする皆さんが在籍する団体です。ロータリーの基本、奉仕の理念(理想)が「職業および人生における成功と幸福の礎であること」を学び行動する団体です。

私たちは奉仕の理念で学び行動している間われています。

ロータリーには5つの価値観があります

- 生涯にわたる友情を育んでいます(親睦)
- 約束を守り抜きます(高潔性)
- 多様な考え方を取り入れます(多様性)
- リーダーシップと職業の専門知識を生かして
- 地域社会の問題に取り組んでいます(奉仕とリーダーシップ)

この価値観を大切に今後も楽しく活動させていければ幸いです。

それまで考えた事もない「仕事を通し幸せを目指す人生」。ロータリーで新たな目標『社員の幸せ』を企業ビジョンに掲げる』を得ることができました。黒岩に新工場を設けましたが、人は入るけど育たない、辞めていく、その繰り返し。常に会社の中



が不平・不満、不安だらけ。なんせ、残業も当たり前、品質向上もまだ途上という感じで、“ひたすら仕事する人が一等賞”みたいな、仕事さえすればいいんだという会社でしたから…。

50歳の年に(2005年 平成17年)黒岩から絵馬平へ移転を実施し、ISO9001への取り組み、社員の成長支援人事制度、経営計画書制定など仕組みを作れば何とかなると考えて実施しているものの、売上が上がり利益が出て、社員とともに貢献している実感、幸せ感がなくて…。ロータリーを目指す仕事を通し「社員の幸せを目指す会社をつくりたい」と願っても、うまくいかない。そういう状態が続きました。

どうしたら不平不満、不安から脱出できるのか？ どうしたら社員の幸せを実現できるのか？ 幹部たちと話し合うのですが答えは見つかりません。この話をすることが不安につながるような感覚でした。

自分の思いが強くなりすぎて、社員に対し「社員よりも一段高いところにいなければならない」指導しなければ良くならないという思い込みが強く、社員の幸せを目指す経営ビジョンの実現は遠い話です。どちらかというと、社員と話すのを避けていたような感じでした。ビジョンを目指すための解決策の模索が続きます。

60歳(平成27年 2015年)の年になると会計事務所の紹介で役員3名が東京で研修をはじめました。全国の企業幹部と体験から学ぶ、自分探しをする内容はテクニックから精神面まで様々です。1年半前にチームビルディング研修が屋久島であり、役員でもっと社員を知ることが重要と知り、具体的に行動することを決めました。

私は、2017年 平成29年1月から社員全員と話す1on1ミーティングを行いました。毎週3名、時間を決め、1時間ずつ話すということを始めました。半年かかって、ようやく社員50名全員との面談が終わりましたが、驚きの連続でした。

「えー、この人はこんな人だったの?」「こんな優秀な人がうちにいたの?」という感じで、大きな発見もありました。それまで、社員のことを知るチャンスがなかったのです。

また、1時間の会話によって、壁がだいぶ取れました。社員の家族の構成、これまでやってきたことなど、人生のバックボーンを知る。私も会社に対する思いや自分の個人的なことを話す。社員も「社長ってそんなこと考えてるの?」と感じたと思います。

社員全員との面談が終わった瞬間、社員がとっても愛おしくなったのです。もっと言えば、社員のことを大好きになっている。自分でもビックリしたのですが…。それは話をしてみないと分からない事でした。

「私の話のキーワードは、健康、学びです」。それまでは気軽に「社員に幸せになって欲しいんだよね」という言い方もできませんでした。そんなこと言ったら勘違いされちゃうと思ってたから(笑)。今では堂々と言ってます「みんなのこと大好き!」と。

現在は、幹部社員とは毎月、社員とは、半年に一度1on1ミーティングを実施しています。それによって、社内の風向きが激変しました!「仕事は辛いことが当たり前」だからお金をいただけると何十年も信念となっていたのが変化し、さらにやらされ感満載だった5S、ISO9001などに対する取り組みも俄然変化してきました。

「仕事は、苦労して汗流してやるもの」から「仕事は楽しくやるもの」、「楽しく・明るくやることによって、利益はあとからついてくる」だから、「仕事は楽しく楽にやろう」と言う風向きになったのです。

経営は、山あり谷ありです。ロータリーの「幸せになる」奉仕の理念・5つの価値観とご縁を大切に生きて、新しい風をタカラ印刷の後継者、次世代にバトンタッチをしたいと取り組み中です。

— 理事会情報 — 第11回 H31年4月3日 13:40~ 於クーラクーリアンテ

- 1 審議事項
- (1) 会報のペーパーレス化について⇒赤間浩一クラブ会報委員会委員長から説明があり、暫定的に5月からペーパーレス化していくことで承認された。
  - (2) その他
    - ① 菅原節子創立50周年記念式典・祝賀会実行委員長から、実母に介護が必要となり委員長職を辞退させて頂きたい旨説明があり、承認された。後任については5月の理事会で案を提出しお諮り頂くこととなった。
- 2 報告事項
- (1) 各委員会報告 ※抜粋
    - ・高橋勇雄 会場監督より：新入会員候補が4~5名おり、是非とも入会して頂きたいため、**例会の内容を少し変更し**和やかに行きたい。
    - ・松崎弘昭 ロータリー財団委員長より：ベネファクターは、一度やるとカウントされないということですので理事の方でやったことがない人は是非お願い致します。
    - ・菊地和宏 社会奉仕委員長より：花野山児童支援事業について、成蹊高校、愛育園、南RC、渡辺勇さんのご近所の方の参加で約50名の参加予定となっております。是非ご参加、ご協力お願い致します。
    - ・伊藤鑑一 親睦活動委員長より：家族観桜会について、奥様10名、会員含めまして49名程の参加予定です。是非ご参加ください。
    - ・笠 雅樹 会員増強委員長より：第34回例会について、新入会員候補4名確定しております。宜しくお願い致します。

— 今後のプログラム —

- ・4月17日(水)ゲストスピーカー 普門院住職 横山 俊邦 様
- ・4月24日(水)休会
- ・5月1日(水)休会

— 4月10日(水)の例会プログラム —

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 開会点鐘       | 6. スマイリングBOXの報告 |
| 2. ロータリーソング   | 7. 花野山児童支援事業報告  |
| 3. 四つのテスト唱和   | 8. 花野山児童支援事業報告  |
| 4. 来訪者紹介と会長挨拶 | 御礼贈呈            |
| 5. 東京麹町RC     | 9. 各委員会報告       |
| 会長エレクト挨拶      | 10. 閉会点鐘        |

— 地区情報・第一分区分区・関連情報 —

- ・4月13日(土) 県北第一分区分区"ウツク"大会(からしまわ'ル)
- ・4月21日(土) 県北第一分区分区親善ゴルフ大会  
兼 第5回福島南RCゴルフコンペ(パ'ンソシカントリークラブ)